

# ヨーロッパ社会にみる 自由と労働の歴史

## ～労働と娯楽のサブカルチャー～

●講師 前愛知県立大学教授 日置 雅子



ギリシャ・ローマの古代社会は、同じ人間を自由人(市民)と不自由人(奴隷)に峻別する身分制社会でした。ゲルマンの中世も、自由・不自由の度合いや形は違っても、両者に峻別する意味では同じ社会システムであったと言えます。

本講座では、自由な貴族領主と不自由な農奴という封建的身分制度の中世社会において、生まれに規定されて職業選択の自由が殆どなかった農民の労働の在り方を問うとともに、厳しい労働の中で彼らなりにどのように日々を過ごしていたのかについても見てみたいと思います。また、一足先に自由を獲得していった中世都市についても、都市における自由と労働がどのような心性の社会を作り出していったか、さらに近代の競争社会に向けて農奴解放された農民や都市の中下層市民がどのような労働状況に追い込まれていったかについても考察してみます。

開講日	テーマ
8月 2日	はじめに:ギリシャ・ローマの時代 ～古代社会における市民(主人)と奴隷(物を言う道具)～
8月30日	中世封建社会の成立 ～「戦う人・作る人・祈る人」の3身分社会と封建制度～
9月 6日	荘園制度における中世の村落 ～農奴の労働と不自由のあかしとしての封建地代～
9月20日	農村における労働と娯楽のサブカルチャー ～教会暦と祭りと労働の組み合わせ～
10月4日	12世紀における「中世都市」の勃興 ～都市住民の経済的上昇と身分的自由の獲得～
10月18日	都市のコミュン運動 ～都市自治(市参事会)とギルドのしくみ～
11月1日	おわりに:近代社会への展望 ～農奴解放と農民分解、産業革命後の工業化社会における労働と娯楽～

●日 時 全7回 月曜日 10:30～12:00

●受講料 7回分 14,700円  
※新入会の方は入会金4,200円が必要です



朝日カルチャーセンター | 名古屋  
朝日JTB・交流文化塾

名古屋市中区栄3の4の5  
スカイル10階  
Tel 052-249-5553